

全身症状と喘息様症状から皮膚状態と咳が軽減した幼児アトピーの経過 (5歳 女児)

症例 ID：001-05-NR | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

幼稚園期の秋に背中へ湿疹が出て、首、関節、顔へ広がりました。大学病院でハウスダスト、ダニ、卵への反応を指摘され、環境整備と薬物治療を行いました。症状は全身へ広がり、手足の裏と鼻周囲以外に皮膚症状がみられ、掻破による出血も続きました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド系・非ステロイド系外用薬、かゆみ止め内服薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	発症後約半年以上です。
中止時期	5歳頃の松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼稚園期秋	発症	背中から首、関節、顔へ湿疹が広がりました。
発症後約6か月	治療変更	温泉療法などを試しましたが、全身症状が続きました。
5歳頃	治療開始	煎じ薬、薬浴、消毒、外用処置を開始しました。
開始直後	リバウンド	顔の落屑と瞼の腫れが出ましたが、約3日で軽減しました。
開始約2か月	経過中	全身の黒ずみと落屑が続きました。
開始約4か月	改善	皮膚が滑らかになり、眉毛が生え、喘息様の咳もほとんど出なくなりました。
開始7か月	検査経過	総IgEは初診時3500から5800となりました。
開始1年	経過後	総IgEは3800へ低下し、皮膚状態と咳が軽減しました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始直後に顔の皮膚が剥け、瞼が腫れ、全身の黒ずみと落屑が続いた時期です。

5. 困りごと

- 全身のかゆみと掻破による出血がありました。
- 消毒時の痛みで泣いて逃げるため、家族で1日3回の処置を続ける必要がありました。
- 喘息様の咳も伴っていました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

時期	総IgE
初診時	3500
治療7か月	5800
治療1年	3800

7. 経過のまとめ

治療開始約4か月後には皮膚が滑らかになり、眉毛が生え、喘息様の咳もほとんどみられなくなりました。1年時点では総IgEが5800から3800へ低下し、皮膚症状も軽減していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。